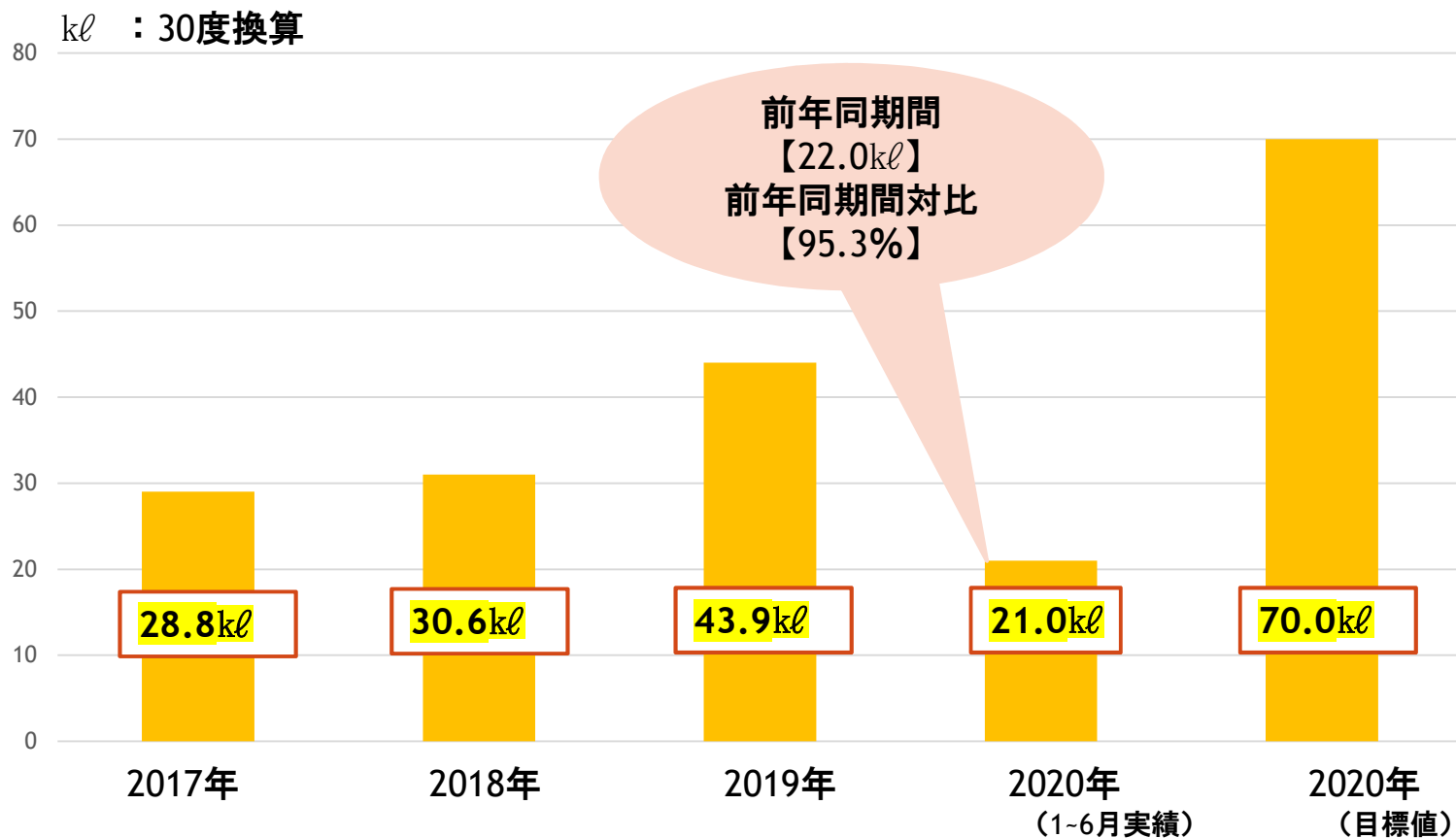


**「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」
琉球泡盛海外輸出実績及び
今後の見通しについて
(令和2年1月～6月時点)**

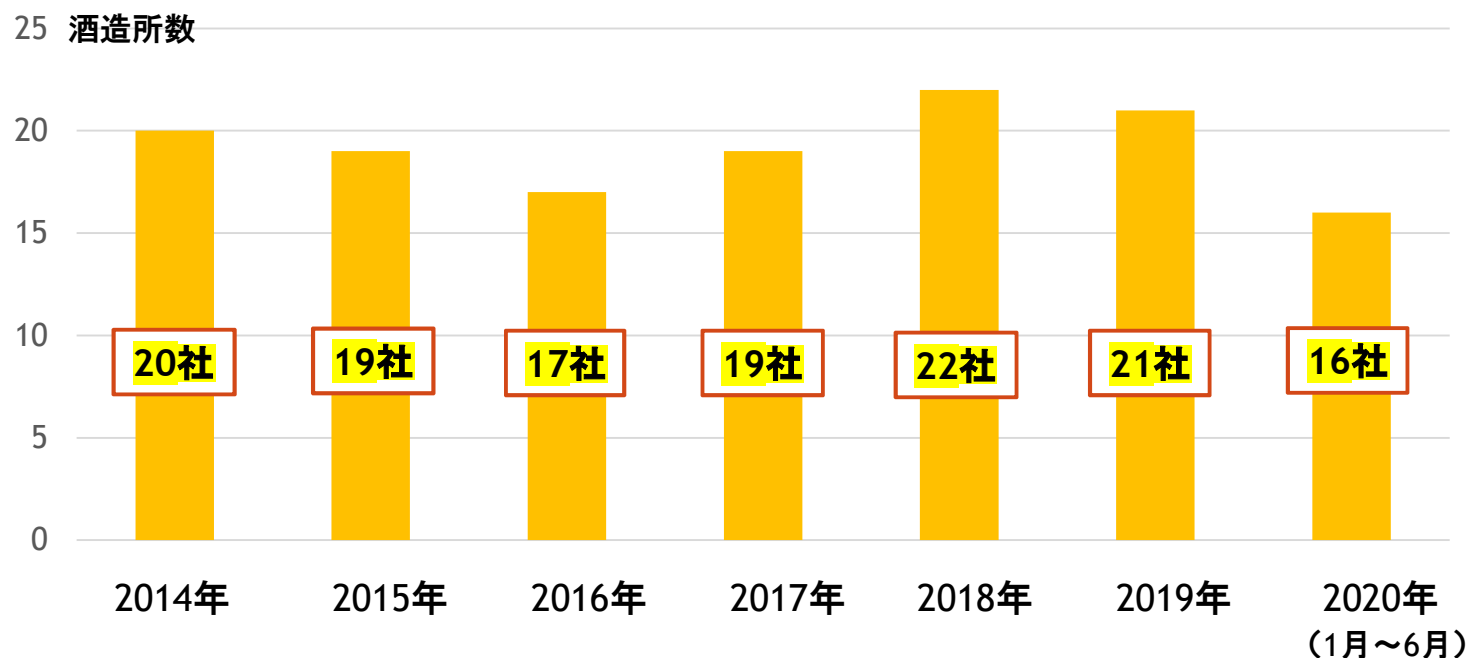
令和2年10月19日
沖縄県酒造組合

2020年1月～6月実績 琉球泡盛海外輸出数量



- ・ 2019年の実績値に対する2020年目標比率：159.5%
- ・ 2020年の目標である海外出荷数量の70KLを達成するためには、49KLの出荷が必要

2020年1月～6月実績 輸出酒造所数の推移



2020年6月時点で、海外輸出を行った酒造所は16社

- ・ 前年同期間（1月～6月）輸出実績社数【18社】
- ・ 前年同期間に輸出実績があったものの、現時点で輸出実績がない酒造所【3社】
- ・ 前年同期間に輸出実績がなかったものの、現時点で輸出でがある酒造所【1社】

2020年1月～6月実績 酒造所別輸出数量対前年増減

酒造所別輸出数量の対前年増減（2020年6月時点）

輸出数量【増加】	輸出数量【減少】
7 社	1 2 社

※前年同期間に輸出実績があったものの、現時点で輸出できていない酒造所も含めての増減社数

■対前年実績で【増加】要因

- 【ドイツ・シンガポール・スペイン】 → 本土の輸出業者を通して新規輸出（出口は商社一任）
- 【オランダ・オーストラリア】 → 内閣府支援事業支援による需要拡大が要因
- 【中 国】 → 取引先商社の中国国内向けECサイト上での取扱いが始まったことにより、出荷拡大につながった。
- 【台 湾】 → 定番補充の増加、新規小売取引の増加（出口は商社一任）
- 【アメリカ】 → 意匠等について法的にクリアができて、新規小売取引が増加した（量販店向け）

■対前年実績で【減少】要因

- 【中国・台湾・アメリカ】 → 新型コロナウイルス感染症による需要減少
- 【マレーシア】 → 受入れ先の現地サプライヤーの事業撤退
- 【台湾】 → 不景気及び新型コロナウイルス感染症の影響により、定番補充依頼が激減。
- 【韓国】 → 世論の動きや、新型コロナウイルス感染症の影響により需要減少。

■ 今年度（令和2年12月まで）の【泡盛出荷見通し】と【今後の対策】

【今後の見通し（酒造所として）】

① ポジティブ

- ・ 夏場に750ml:6,000本出荷（アメリカ）12月までに約10,000本のオーダー予定
- ・ コロナの感染収束が見えてくれば、出荷が元に戻る見通し
- ・ アメリカ向け、ヨーロッパ向け、東南アジア向けに、泡盛とあわせて他種類を展開予定
- ・ 継続取引の輸出が想定される。あわせて新規先国への輸出の準備中
- ・ スピリッツなどの製品について、海外からのオファーが増えてきているため、泡盛もセットでプロモーション予定。
- ・ フランスに輸出の予定がある

② ネガティブ

- ・ 今年に入り、特に伸びてはいない。コロナの影響により、出荷の見通しが無い。
- ・ コロナの影響により海外でのイベント中止や試飲会等が出来ないため、当面は商談レベル見込み

【これからの対策（酒造所として）】

- ・ コロナ禍の為渡航などの営業が出来ず、**SNS等で翻訳をして商品PR、飲み方提案への連携強化**
- ・ 国ごとの取引先との関係強化
- ・ 国ごとの供給シェア（配送効率）を上げるために、交渉強化とあわせて海外販促支援の利用
- ・ 各国の代理店（受け入れ先）との**リモート商談強化**
- ・ 英語版ホームページや動画・SNSなどの制作とあわせて**広報活動の強化**
- ・ 販売出荷見込みが無い分、海外と国内に拠点を持つ企業や販路の切り替え対応（**対象国の変更**）
- ・ 現在、出荷している国以外への輸出の模索、及び既存の代理店への販促物の供給など
- ・ **オンライン商談会への参加等**
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で地道に現地での販促活動の実施